

もっといい明日が見えてくる - Letters from Gnable

# Gnable

グノレット

# G-let

vol.29 Digest版特別号

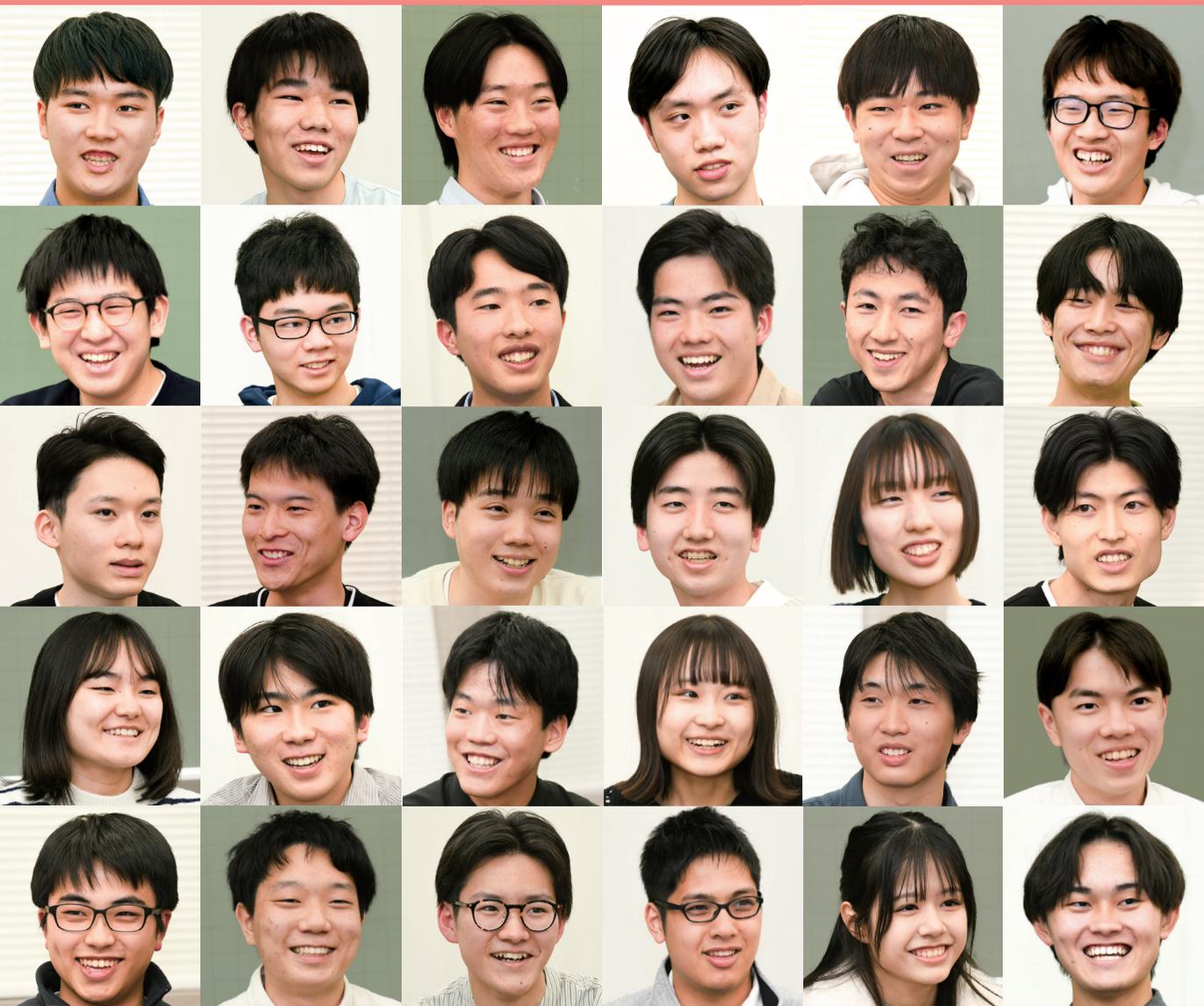
# vol.29.5

2025年1月発行

東大・難関大・医学部  
合格特集号

特別掲載

卒業生の保護者座談会



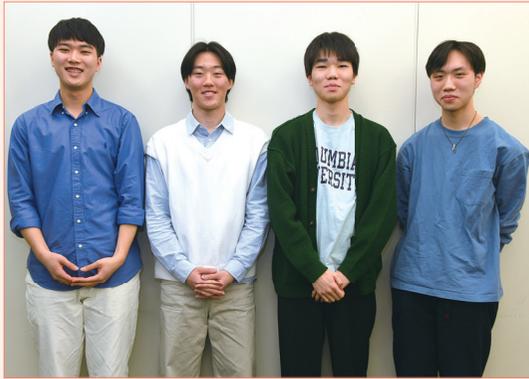
● vol.29 フルバージョンは、Webにて公開中。  
こちらからお読みいただけます。



**Gnable** GROUP

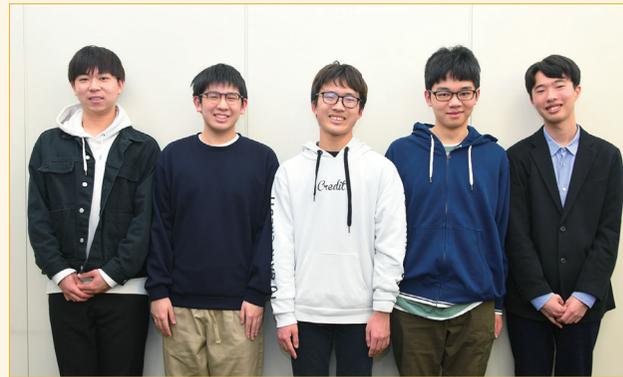
# Gno's Highlight

※ページ数・内容は本誌「Gno-let vol.29」より



グノの英語は授業内で演習する時間がちゃんとあって、解説も先生と生徒がやりとりしながら進みます。グノのやり方がとても良かったので、高3からは国語と数学もグノに変えました。

福島 琉斗さん (東大文II・芝)  
Part 1 1ページより



横浜校は、まだ歴史は浅いのですが、結びつきがすごく強かったです。先生たちはもちろん、受付の人たちにも名前を覚えてもらっていました。横浜校はアットホームで、安心感もあって、勉強に集中できました。後輩たちにも、絶対にグノを信頼して頑張ってもらいたいと思います。

都知木 勇人さん  
(京都大工・駒場東邦) Part 6 47ページより



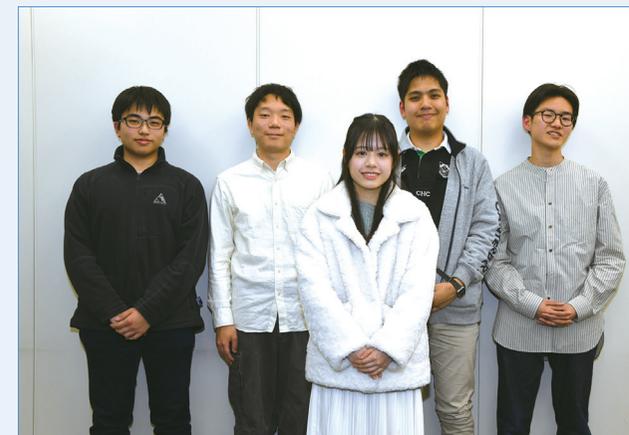
グノでは毎週、「この時間でちゃんと集中して読んで考える」という意識を持って演習する機会がありました。集中して解く習慣づくりを高1から

3年間できたのは、当たり前のように当たり前ではなかったのかもしれない。

鈴木 惺太さん (順天堂大医・海城) Part 7 52ページより

グノに入ったのは中学1年生です。6年間お世話になりました。グノでは学校の授業や部活、課外活動などとちゃんと両立できたし、全部の教科をバランス良く勉強できました。

宇田川 楽さん  
(東大理I・開成)  
Part 2 9ページより



ものすごく楽しみながら受けられる授業がグノの国語でした。私たちが演習した問題を先生が解説してくださいます。その解説の具体例がすごく面白いし、分かりやすく、教室には笑いが絶えませんでした。

谷本 温子さん (東大文II・筑波大附属)  
Part 3 25ページより

数学では「テーマタグ」という考え方を教わりました。具体的には、「何をテーマにした問題なのか？」を理解してタグ付けをしていくことで、解き方を思いつきやすくなるという考え方で、自分にはぴったりでした。

林 亮成さん (東大理II・麻布)  
Part 5 37ページより



先生方はいつも生徒一人ひとりを気にかけてくださっていると感じていました。どの生徒にも気を配ってくださいます。それは、添削のコメントにも感じられます。私は、中学受験でも大学受験でも良い先生に恵まれたと思っています。

池内 寧々さん (東京医科歯科大医・桜蔭) Part 4 32ページより



# 保護者座談会

2024年度の保護者座談会は、Gno-let vol.29『東大合格特集号（中学受験グノーブル卒生インタビュー併載）』にご登場いただいたグノーブル18期生、池内寧々さん（東京医科歯科大医学部・桜蔭）のお母さま、鈴木惺太さん（順天堂大医学部・海城）のお父さま、高木亮孝さん（東大文II・筑波大附属駒場）のお母さま、都知木勇人さん（京都大工学部・駒場東邦）のお母さまにお集りいただきました。グノーブル18期生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けながらも中学・高校生活を過ごしてきたことでしょう。その中で勉強の習慣を確立して、高い目標への努力を重ねてきた卒業生の皆さんには拍手を送りたいと思います。

また、保護者の皆さまは、どのようにお子さまと向き合ってサポートしてこられたのか、グノーブルをどのように見ていらしたのか。お話を伺いました。（取材・文 吉村高廣）

## 受験期を通して垣間見えた子どもの素顔

**鈴木：**「ひとつのことをやりきった」という意味では大いに成長したと思います。ただ、医学部はこれからが本当のスタートで、先が長く、まだまだ学ぶことはたくさんあります。「よくやった」と声はかけましたが、あくまでもひとつ階段を上っただけだと私は思っています。

**高木：**「目標を見据えて勉強すれば実りがある」ということを、グノーブルの先生方にもお世話になりながら証明できたことで、きっと本人は自信がついたんじゃないでしょうか。自分で考えて、自分で計画して、自分が目標にしたことをクリアしたということに対して、よく頑張ったと思っています。

**都知木：**口ぐせのように「グノを信じて正しい努力を続けていれば、必ず目標に到達できる」と言っていた姿には、息子の決意のようなものが感じられました。

## 塾選びの決め手になったもの

**池内：**娘が小学校3年生の時に中学受験グノーブルができ、最初は算数1教科だけに通わせてみました。おかげさまで桜蔭中学に合格して、そ

の後中3で大学受験グノーブルに英語でお世話になるわけですが、中学受験の時から中山先生のお名前は存じ上げておりましたし、少人数で温かさを感じるグノーブルに大学受験でもお世話になることを決めました。

**鈴木：**グノーブルとの接点は長男です。説明会での「英文を前から読んでいく」という教え方に衝撃を受け、「ここだ！」と直感して長男に強く勧めたんです。長男以上に私のほうがグノーブルの教え方に共感できたということです。長男は物理の岡崎先生に強く感銘を受けていました。私は、「ここまで深いことを学ぶ必要があるのか？」と思いましたが、長男から「ここから理解して積み重ねていくうちに、初見の問題への対応力がつくんだ」と逆に諭され、事実、ある時期に成績が驚異的に伸びたことがあり、驚いたのを覚えています。

**高木：**息子は「自分が大学で勉強したいことは文系なんだ」と意識するようになり、苦手意識を持っていた英語と国語の授業が充実している塾を調べていたようで、「グノーブルに行きたい」と本人から言ってきました。息子はグノーブルの授業が大好きで、学習方針についても

「自分には合っている」と言っていました。

**都知木：**駒東が学内で編集している合格体験記には、「グノーブルの先生がすごく良かった」というメッセージがとても多く、グノーブルを勧めました。グノーブルで高3の6月に念願のαに上がって念願の中山先生に教えていただけるようになり、いつも本当に楽しそうに帰ってきました。

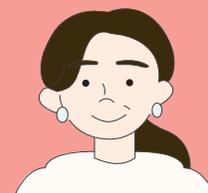
## 親としてグノーブルに期待していたこと

**都知木：**成績が上がることは大前提として、勉強嫌にならず、少しでも前に進めるよう毎日30分でも1時間でも勉強する習慣を身につけていただけたらと思っていました。そのためには本人が勉強に興味を持って「楽しい！」と感じられなければなりませんよね。グノーブルに期待していたのはその部分でしたし、実際にそのとおりになりました。息子はグノーブルでの学びを通して受験にとどまらない勉強の楽しさをつかんだのかなと思っています。

**高木：**本人が楽しく通えることです。往々にして大学受験は過酷で大変なものというイメージがありますが、息子はいつも「グノの授業は楽



都知木 勇人さんの  
お母さま  
京都大・工（駒場東邦）



池内 寧々さんの  
お母さま  
東京医科歯科大・医（桜蔭）



高木 亮孝さんの  
お母さま  
東大・文II（筑波大附属駒場）



鈴木 惺太さんの  
お父さま  
順天堂大・医（海城）

※本文中敬称略

「グノを信じて正しい努力を続けていれば、必ず目標に到達できる」  
その言葉に、わが子の決意が感じられました。

しい！」と目を輝かせて話していました。グノーブルは私の期待どおりの塾でした。

**鈴木：**英語力の向上は受験の基礎になるので期待していたことのひとつです。あと、グノーブルに通うことで勉強する習慣がつくことを期待していました。授業内で演習を行い、即添削が返ってくるシステムが素晴らしいかったです。

**池内：**親として期待していたことは楽しく通い続けてくれることです。グノーブルに行ったら萎縮することなく、分からないことは先生にどんどん質問して、楽しく授業を受けてくれればそれでいい。またそれができるのがグノーブルという塾の特色だとも思っていました。

## 子どもの様子から垣間見えたグノーブルの魅力

**池内：**いつ英語の勉強をしているのか分からなかった、それくらいグノーブルの英語は効率的な学び方が確立されていたということです。

**鈴木：**中山先生の話はよく聞いていましたし、合格体験記でも「本当に尊敬できる先生で大学生になっても授業を取りたい」と書いていました。実際に成績にも表れていましたので、すごいことだと思いました。

**高木：**息子にどうやって英語を勉強

しているか尋ねると、「とにかく音読をすること。音読をしていると体にも英語が浸透していくのが分かる。だから音読の力は間違いなくあると思う」と言っていました。五感を使って、英語を自分の中に入れていく仕組みづくりが完成しているグノーブルの英語は大きな魅力です。

**都知木：**暗記に頼らない授業が本当に楽しそうでした。先生や受付のスタッフの方々が親身になってどんな時もサポートくださって、そういう距離の近さが息子の背中を押して気持ちが安定していったと思いますし、私の安心材料にもなっていました。

## グノーブルの先生はどんな存在だったか

**都知木：**どの先生とも信頼関係を築けていたみたいです。相談や質問のしやすさという部分もグノーブルの独自性ではないでしょうか。

**高木：**息子の様子から、本人が先生方を信頼しているということが伝わってきました。生徒を子ども扱いせず、しっかり向き合ってください背中を押してくれる、ありがたい存在でした。

**鈴木：**「こんなことを知った」「あんなことを発見した」と、楽しそうに話す息子の姿を何度も見ました。「受

験は大変だ」という固定観念がある私も世代からすると、グノーブルは本当にすごいと思いました。

**池内：**先生方の熱意と存在感がすごく、こうした先生方に教えていただいているのだから「絶対に大丈夫」という安心感がありました。

## お子さんが受験を迎える方にアドバイス

**池内：**娘は受験が終わっても音読を続けています。良い先生方と出会い、すごく良い習慣をつけてくださったと思い、感謝しています。

**鈴木：**勉強方法に関しては、「無駄な時間を過ごさないように」「目標は高く定めること」、このふたつはよく伝えていました。

**高木：**子どもを信じてあげることが大事です。一方で、受験生といえども勉強をしていれればすべてが許されるわけではありません。当たり前前の生活の約束事は忘れないよう、そういったことを教えられるのは親しかいないと思います。

**都知木：**黙って見守ること。あと大学へ行って何をしたいかという目標を定めることが大事だと思います。また、挨拶や当たり前前の生活が送れていることに感謝をして、「人としてどうなんだ」と言われたいよう導くこともとても大事だと思います。

## 18期生合格者インタビュー

# Part 1

中学受験グノーブル卒生



K.S.さん

東大文I・駒場東邦

※ご本人の希望により、イニシャル表記にしています。



さとう りょうい  
佐藤 諒以さん

東大文I・栄光



ふくしまりゅうと  
福島 琉斗さん

東大文II・芝



ふじわら りひと  
藤原 理人さん

東大文I・芝

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

### グノーブルに通ってみて

**福島：**グノの場合、指名されるのと、解説が面白くて刺激を受けられるので集中力が長続きしましたし、良い緊張感がありました。

**K.S.：**グノでは、単語も語源からしっかり教えてくれます。黒板に描かれる絵や先生のジェスチャーとも結びついて知識がその場で頭に入るので、人間味が感じられます。しかも、授業中に演習するので予習する必要がほとんどありません。

**佐藤：**授業内容として、いわゆる受験テクニックみたいなことを特に教わった記憶がなくて、根本的な英語の力や教養を教わった印象が強いです。きちんと隅々まで読んで、論理の展開を把握して、答案に記述するという根本的な学力や考える力に重点を置いて教わりました。

### グノーブルの英語

**藤原：**授業では、受験を超えた、東大入試の英語よりも明らかにレベルが高い文章を扱っていたこともあって、過去問を見た時に「思ったより簡単じゃない？」という印象を受けました。

**福島：**グノの英文は内容がとてもア

カデミックです。いろいろなテーマが扱われて、中には抽象度が高くて読みづらいものもありました。東大の英語の文章より間違いなく難しかったと思います。

**K.S.：**英文を、日本語を介さずに語順のまま解釈できる力は特に大きいと思います。語源などを分かっているの、知らない単語が出てきても「ここはこういう意味かな？」と推測してすぐに覚えられるようになりました。

### グノーブルの音読

**K.S.：**僕の場合、復習イコール音読でした。音読していると、文の構造が目に見えるようになります。作文する時も、英文を書きながら、文法ミスをしていると違和感があって、見直したら「あっ、ここは違うな」と発見できるようになりました。口に出すと構文が音声化されて耳に入ってくるので、目と耳の2つを使う音読のほうが黙読よりも効果的でした。

**藤原：**グノの音読のメリットは、良い意味で息抜きになることです。音読は、立ったり歩いたりしながらでもできるし、グノの英文は読んでいて楽しかったです。

### グノーブルの英語で特に良かったこと

**藤原：**添削が授業内にあることです。書く時に、「添削される」と思うと、普通に書くより熱心に取り組めます。「しっかり書こう」という思いが出てくるので集中力アップにつながります。

**佐藤：**授業の前半は演習で、後半は解説ですが、演習はタイトな時間の中で頭をフル回転させて集中的に取り組まないといけないですし、解説も先生がずっと同じ熱量で話してくださるので、それをメモしたり理解したりするので精いっぱい頭を回し続けます。

授業の密度が高かったのがすごく良かったと思います。自分はグノの教材以外の単語帳や参考書をほとんどやりませんでした。英語力が伸びていく実感があって、それもすごく良かったことです。数学や地歴の勉強に忙しい中でも、グノの教材だけを仕上げていけば英語力が伸びてくれるのは、自分にとっては心強かったです。

**K.S.：**授業内で演習から解説まで全部完結しているのはすごくありがたかったです。それから、一番良かったのはやはり音読です。YouTube

にあるサミングアップ\*1の音声は、勝手にスクリプトが流れていきます。スマホだけあれば英語に触られます。この音声を使ってずっと音読していました。音声を聞きながらスクリプトを見られるので、「ここはどういう発音をしているか？」などをちょっとずつチェックできます。リスニングのウォーミングアップになりましたし、本試の前にもやりました。

### グノーブルの国語

**佐藤：**高1、高2は古文を、高3は東大国語で現代文・古文・漢文すべて網羅できるよう受講していました。国語でも添削を毎週丁寧に行ってください、自分が分かっていなかったところや曖昧だったところはちゃんとフィードバックされていて、力につながる事ができたと思います。

**福島：**現代文は抽象的なので分かりにくいことが多いのですが、先生が身近な話題や体験談を交えて説明してください、高校生の自分でも分かりやすかったです。高2の終わりには国語が足を引っ張っていましたが、高3に入ってから安定するようになりました。特に夏以降の模試では点数にもそれが表れていました。

**藤原：**僕も高1の1年間で古文を受けました。グノの古文は、高1が高2の1年間受講すれば仕上がり説明を受けていました。ちゃんと1年間で身につくカリキュラムになっていました。

### グノーブルの数学

**福島：**高3の春期講習から数学を取りました。セルフチェックシート\*2では、数学の問題について思考の過程を言語化して可視化することで、自分の間違っていたところなどを見返せます。書いている途中で新しい

方針が思い浮かぶこともあって、結果的に新しい問題を解く力がどんどん養われました。

### グノーブルの先生

**佐藤：**グノでは先生が、程よい距離感を保ちながら、優しく接してくださいます。どの先生も名字に敬称をつけて呼んでくれました。名前以外にもいろいろなことを把握してくださいましたのは印象的でした。

**K.S.：**僕は名字がとても読みづらいので、他の塾では初回に絶対間違えられます。でも、グノの先生方は、初回からちゃんと呼んでくださって、しかも、すぐに覚えてくださったので、それが嬉しかったです。先生は皆さん、非常に熱量が高くて、機械的に教えるのではなく、先生の持っている知識や考え方を僕たちに伝えてくださっている感じが伝わってきました。とても分かりやすく覚えやすかったです。

勉強に前向きになれました。教わる側の気持ちも考えてくださったので、こちらやりやすいし、自由にやれるので学力が伸びるのだと思います。

**福島：**授業への熱意がすごくて、生徒への姿勢も真剣です。すぐに顔と名前を一致させて覚えてくださいます。「どうやって覚えているんだろう？」と思って軽く衝撃的でした。僕は直前期にいろいろな先生にメールで添削をお願いしました。先生方はそれをとても丁寧に、しかも、短時間で返してくださいました。

**藤原：**双方向の授業ですぐに名前を覚えてくれるのも嬉しかったです。先生の人柄に親しみが湧いて、それが、受験が近くなってつらくなってくる時期に「グノに行こう」と思える原動力になりました。

### 後輩へのアドバイス

**佐藤：**大学入試だけで止まるような学力では、東京大学をはじめとする難関大学に余裕を持って合格していくのはなかなか難しいと感じています。グノの英語も古文も、大学入試で要求されるレベルを遥かに超えていると思いますが、それをこなす力がないと、余裕を持ってトップスピードで大学入試を通過していくのは難しいと思います。グノは大学入試の先を見据えて、先に通じる学力を養成するという点では、大学入試に最も適した塾だといえます。

**K.S.：**グノでも入試に特化した英語力に匹敵するどころか、それ以上の英語力が、授業内とその後の復習・音読で絶対についていきます。グノを信じて、復習などのサイクルをつくり上げてやっていたら、英語に関しては全く問題ありません。先生方を信じて頑張してほしいと思っています。

**福島：**受験で一番大事なのはメンタルです。僕は共通テストの点数があまり良くて、9割にも全然届きませんでした。それでも東大は二次試験の割合が大きいので、「自分は二次型の人間だ」と言い聞かせて、最後の1か月間を必死に勉強したのが良かったと思います。もし、共通テストや模試の判定が悪かったとしても、そこで一喜一憂せずに頑張ってください。

**藤原：**グノの教材を信じて取り組めば、合格する力がつくので、頑張ってください。直前期はやはりメンタルが大事で、同じような志望校を持った人たちと話してリフレッシュするのもおすすめです。あとは、文系だったらやはり社会で決まるので、英語はグノの教材の復習だけに徹して、社会に時間を充ててほしいと思います。

\*1 SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語（読解）で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答案は担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。  
\*2 セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。

## 18期生合格者インタビュー

# Part 2



うだ がわく  
宇田川 楽さん  
東大理I・開成



たかぎ あきのり  
高木 亮孝さん  
東大文II・筑波大附属駒場



たいうち ひろのり  
谷内 啓則さん  
東大理I・開成



にしき ひびき  
西脇 響喜さん  
東京医科歯科大医・筑波大附属駒場



やた しょうたろう  
矢田 翔太郎さん  
東大文I・筑波大附属駒場

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

### グノーブル入塾のきっかけ

**宇田川**：グノは中1からです。授業はとても分かりやすいし、宿題の負担も少なく、僕に合っていたので6年間お世話になりました。学校の授業や部活、課外活動などちゃんと両立できたし、全部の教科をバランス良く勉強できました。

### グノーブルと他塾の違い

**矢田**：宿題が多くなくても実力がつき、授業の振り替えがしやすいのがグノの特長です。そしてもうひとつ、僕の中で大きかったのは、講師陣の充実です。グノの先生は教えることに熱意があって、授業が充実しています。僕は「先生が大事」と思い塾を選んだので、そういう点が良かったです。長年のご経験と豊富なデータから、「どう指導したら生徒が分かりやすいか、成長できるか」なども熟知されていました。

### グノーブルの英語

**矢田**：僕は、高3の11月くらいまで、英語がずっと壁にぶつかっていた感じでした。でも、受験直前期に

過去問を解いたら「あれ、自分はこんなに解けたっけ？」みたいな感じで、どんどん解けました。気づかぬうちにグノの教材で鍛えられていたのだと思います。グノの英語教材では、幅広い話題が扱われていて日本語でも知らない知識が出てくる医学的な文章なども読みました。すべての英文について先生が背景まで含めて分かりやすく解説をしてくれました。英語力もちろんですが、教養という意味でも将来に活きるという実感がありました。

**高木**：僕はEGGS\*1からのスタートでした。高2の文法の授業では、長い時間をかけて土台をじっくり鍛えてもらえました。高3の授業は演習中心で、1学期は東大の過去問を扱うこともありましたが、夏休みぐらいから先は、東大レベルよりさらに難しい、例えばオックスフォード大学教養学部の教科書が題材になったりしていました。そういうレベルが高いものを確実に理解できるように講義してもらえて、それをちゃんと音読で復習しているから、難しい文章もずっと理解できるようになっていました。

**宇田川**：グノの授業では、「前から解釈する」とか「英語の語順のまま」

ということを大事にしています。だから、戻らずに英語のまま読めるようになって、読むスピードが上がったのだと思います。英語のまま解釈していくのはすぐにはできませんが、毎週やっていたらどんどんできるようになっていきます。積み重ねていく中でいつのまにか身につけていました。

### グノーブルの英語の勉強法

**西脇**：受験のために教材を使い捨てるのではなく、英文の背景、書いている人の思いにまで至る解説を聞くのが好きでした。そこが毎回の授業の楽しみでした。

**宇田川**：良かったことは、グノの英文が全部面白かったことです。無機質な英文をずっと読み続けるのではなく、いろいろな英文に出合えて、楽しく学べました。英語の授業や勉強は、他の教科と比べても知識の確認や文法的な説明といった単調な作業になりがちです。でも、グノの授業では、いつも頭が活性化されました。解説を聞いていると内容理解が深められて、書いた人の人柄まで見えてくることもあって面白いので、集中して聞ける授業でした。

**谷内**：扱っている英文は面白いものばかりだし、その面白さを先生がちゃんと伝えてくれました。だから、僕にもその面白さが伝わって、音読も楽しくなり、英語への抵抗感が全然なくなりました。英語が苦手でも「頑張るか！」という気持ちになりました。

### グノーブルの音読

**谷内**：いつのまにか、前から読んでいってそのまま意味を取れるようになったこと、それから、段落ごとに整理して内容を捉えていく習慣ができました。そのおかげで、長文で迷子になりづらくなりました。

**西脇**：音読では綺麗な英文が頭の中に入ってくるので、ライティングやスピーキングにもすごく活きてきます。英作文でも、綺麗な英文が出てきやすくなりました。音読は、リーディングに限らず英語学習全体に効果があると僕は思います。

### グノーブルの数学

**矢田**：セルフチェックシート\*2は、「自分がどこまで解けたか？」が分かるのが最大のメリットです。例えば、最初から方針をミスしていたのか、または、ただの計算ミスだったのかみたいに、「どこでミスしたのか？」が明瞭になることによって、「今の自分に足りないのは、次のステップへの思考の過程なんだ」「計算ミスを注意する姿勢が足りないんだ」などと考えられます。

**高木**：グノの数学は、本当の実力がつく授業でした。文系だと高1で全範囲終了して、高2の1学期、夏期講習、2学期、高3の春から1学期で、一単元を3、4周して、さらにはテストゼミでも同じようなことを何回かやります。同じことを何周もして、各問題へのアプローチを短い

言葉で教えてくれるので、本番でもそれをすごく意識できました。

### グノーブルの国語

**高木**：東大国語は、先生が楽しそうに授業をしてくださったので、受けているこちらにも楽しかったです。先生はいろいろな経験をされているので話の引き出しが豊富なんです。古文・漢文は「暗記が必要だ」と言われますが、グノでは1年間の授業で必要な力がすべて整います。僕は高2で受講したので、高3になって単語帳を一切見ていません。

**矢田**：僕も高3で東大国語、高2は古文と漢文をとりました。一番良かったのは漢文で、句法などを「覚えてきなさい」ではない授業だったことです。文章の中で使い方を理解しながら味わっていると身につきます。

### グノーブルの先生

**矢田**：やはり一人前の大人として扱ってくれたところが僕にはめちゃくちゃ心地良かった、というか、勉強していてやりやすかったと感じるところです。

**谷内**：先生方はめちゃくちゃ寛容で、こちらを受け入れてくださいます。その一方で、添削や授業のやりとりで一人ひとりを見てくださるので、アドバイスは的確だし、するりと頭に入っていくので、授業も受けやすいし、質問にもいきやすいんです。

**宇田川**：グノの先生はプロだから、生徒のことをすごくよく見てくださいます。「ちゃんと見てくれているな」という安心感がありました。振り替えはネットでもできますが、僕は受付によくお願いをしていました。毎回の対応がいつも丁寧で優しくて、そういうのもとてもありがたかったです。

### 医学部を目指す後輩へのアドバイス

**西脇**：医学部は英語が本当に大事です。東大などに比べて、医学部は数学・物理・化学の問題数が少ないので、点数差が振れやすくなります。だから、「数学で稼ごう」と思ったけれど、実際に本番では取れず、悔しい思いをする人も多くいます。医学部で通用する英語力をつけるという意味で、グノは本当に良い塾です。グノのカリキュラムに則って音読と復習を大切にしましょう。それから、『Grammar Book』\*3の一文一文には音声がついているので、それを聞いてディクテーションすると、綺麗な英語が自分の中に入ってきて、ライティングなどの実力も上がってきます。グノは英語力をつけるのに十分な塾なので、信じて頑張ってほしいです。

### 後輩へのアドバイス

**高木**：グノは広告などで「知の力を活かそう」とずっと伝えていて、本当にそこは全科目通底していましたし、どの科目でもいろいろな視点から教えてくださいました。数学なら、別解をたくさん教えてくださいました。英語でも国語でも多様な文章を扱ってくださったので、僕たちの視野が広がります。先生方も知性にあふれ尊敬できます。ホームページに「2つの磁石」という項目があって、「受かる方向にも、その先の成長にも導く」と書かれています。僕は2年半通ってみて『2つの磁石』は本当だったな」と実感しました。だから、グノの先生のおっしゃっていることを信じてやっていけば、合格は叶えられます。

\*1 English Grammar Green Session for newcomers：季節講習（中3冬期～新高3冬期）で行われる、基礎力を固めたい方を対象にした、独自のメソッドによる英文法基礎講座。

\*2 セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。

\*3 Grammar Book：グノーブルの英文法解説書。英語の仕組みを理解して身につけることをグノーブルではとても大切にしているが、その英語の土台を「耳」と「口」を通して身体になじませてしまうことが本書の基本コンセプト。

## 18期生合格者インタビュー

# Part 3



岸 孝太郎さん  
東大文III・駒場東邦



北原 慎之佑さん  
東大文I・都立富士



鈴木 謙太郎さん  
東大文I・開成



谷本 温子さん  
東大文II・筑波大附属



永田 泰士さん  
東大文I・開成



平賀 瑛斎さん  
東大文II・駒場東邦

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

### グノーブルに通ってみて

**谷本**：宿題が多くななくて、1回の授業で演習、その場で解説というサイクルに重点が置かれています。だから集中できて、1回1回の授業の質が高く、内容が濃く思いました。自然に集中できるので、やらされている感がありませんでした。

**北原**：先生と生徒の距離が近いのが他塾との一番の違いだと思います。グノの先生はその場にいる生徒の表情や反応などを見て、「どういう授業をしたら良いか？」を考え臨機応変に授業をしてくれます。

**鈴木**：グノの授業では、文章というリアルなコンテキストの中で単語を覚えられます。自分では少し届かないレベルのものを授業で提供してくれるからこそ、その1回の授業で成長できます。しかも、次の授業ではもっと難しいものが出てきて、これを繰り返して、あと1歩届かなかったところに手が届くという経験を積み上げていけるので、「前はできなかったものができるようになっていくし、今度はこれだけ成長できたんだな」などと実感ができます。それがすごく自信につながりました。

**岸**：先生が持ってきてくださる教材

は質が高く興味深く、日本語でも読みたくなるものばかりでした。英語力もさることながら、教養も身につく教材で、今後大学で英語を学ぶ上でベースになるような英文です。先生自身が、非常に興味を持っている英文を、その面白さを共有する形で授業して下さるのが印象的でした。

### グノーブルの英語

**平賀**：最初は「英語を英語のまま」と言われて、「本当にできるようになるのかな？」と思っていました。1回読んだことのある文章を音読すると、英語を英語のまま読むことが、ある程度できますが、「これで本当にできるようになるのかな？」と不安でした。でも、夏の東大模試で1Bの文章を読んだ時、スラスラ内容が入ってきて「英語を英語のまま読めている」と実感しました。

**岸**：言語学習者としての態度を身につけられました。英語と日本語はあらゆるものが違うのに、英単語を覚える時には、英単語の意味を日本語に置き換えて一対一で覚えていけると考えるのは奇妙です。グノではそこを丁寧に指導して下さいます。

英語を英語で理解するとか、1回学んだ英文を聞いて音読するとか、英語に対するリスペクトを感じて、それは他の言語学習にも通じると思いました。

### グノーブルの音読

**永田**：授業で先生から教わったことを頭の中で復習しながら読むことによって、英文の中のアクセントや主題など、文章の流れを読み取れるようになるのが大きかったです。

**北原**：受験が近づいてからの英語の勉強はほとんど音読だけで、入試直前1週間ちょっと前は過去問と英作文をやったぐらいです。音読を1日45分やっていました。やっているうちに、授業で「理解した」と思っている英文でも、「ここの表現はこういうことを伝えたくて筆者は使っているんだ」とか「ここは勘違いしていた」とか、パッと閃きを得る瞬間があって、そういう時に知的に興奮できて楽しかったです。

**谷本**：私も毎日音読をやっていました。同じ文章を読んでいるはずなのに、毎回読むたびに新しい発見がありました。

### グノーブルの英語の特徴

**北原**：授業中に演習できるところが良かったです。演習中に周りからプリントをペラッとめくる音がすると、「あの人はもう終わっているのかな」と思って、周り静かに切磋琢磨できます。あの演習中の雰囲気はすごく良かったです。授業中に演習することで、「ここが知りたい」という気持ちが生まれるし、その気持ちのおかげで解説を集中して聞けるので、授業から得られるものが多くなります。

**永田**：僕も授業中の演習がすごく良いと思っています。限られた時間の中で膨大な量の長文を解き切るのは、最初の頃はかなり難しかったです。「解き切れなかったのが悔しい」となって、「次週までに音読して、復習しよう」「速く読めるようになる」と良いななどと思いました。そういう点もスピードの向上につながったと思います。

**鈴木**：良かった点は、理解を試す問題がたくさん用意されていたことです。例えば、要約問題では英語で読んだ文章を頭の中で一旦整理する必要があります。論理体系を一度自分の中に入れて、それを噛み砕いて日本語として今度はアウトプットしないといけません。だから、精密な理解や体系的な理解が必要になります。この練習は本当に大事だと思います。自分で論理的な思考が身についたと感じるきっかけにもなりました。

**平賀**：文法用語を多用しないのがすごく良かったです。学校や参考書では文法用語を多用して解説するので、理解に時間がかかりました。一方、グノは、英語を前から読んで理解する力を養うことを念頭に置いているので、文法用語を使って構造解析しなくても、ネイティブのように捉えていく解説をしてくれます。前

置詞や動詞の説明だと、先生が黒板に絵を描いてくれたり、ジェスチャーで説明してくれます。だから、スラスラ伝わってきて、しっかり理解できました。

### グノーブルの数学

**平賀**：グノに入ってから、その場限りの解法ではなく、「この単元では、あの解法もこの解法もあるけれど、今回はこういう問題だからこの解法を選ぶ」という感じでフローチャート化する手法が身につきました。高3の後半に演習をするようになった時、取るべき問題と捨てても良い問題を判断して点数アップにつなげる能力も養えました。セルフチェックシート\*には、「自分がどうして間違えたのか？」などを書くので、ただ脳内にとどめておくよりも客観視しやすかったです。それを保存しておくことで、同じ問題を解いた時に「同じ間違いしちゃったな」とか「前回よりも成長しているな」とか、そういう振り返りができて成長につながったと思います。

### グノーブルの国語

**谷本**：ものすごく楽しみながら受けられる授業がグノの国語でした。私たちが演習した問題を先生が解説してくれます。その解説の具体例がすごく面白いし、分かりやすくて、教室には笑いが絶えませんでした。しかも、教養が深まる内容や物の見方なども教えていただけて、毎週通うのが楽しみでした。

**北原**：特定の解答方法を強要しないのも特徴でした。自分なりの表現で書くことが許されていて、それをどう改善すればいいかの添削を受けることができました。

### グノーブルの先生

**岸**：グノの先生は、尊敬できる人生の先輩みたいな存在で、全員個性的でした。「こういう大人になりたいな」という先生がいっちゃって、その先生の話の聞いていると「面白い」「詳しいな」「すごいな」と感動するので、生徒の成績も上がるのだと思います。

**永田**：先生方が毎回その日のクラスの様子に合わせて授業をしてくださっているのがひしひしと伝わってきました。だから、友達と話していても、「その話をこっちのクラスではしていなかった」ということもありました。定型の授業を繰り返すわけではなく、毎回の授業が新鮮であることが印象的でした。

**北原**：グノの先生は生徒思いです。生徒の名前や性格を覚えるのは大変だと思います。それなのに、グノの先生方は1回目の授業から親しく接して下さるのが良かったです。

**谷本**：すぐに名前を覚えて当ててくださるのは、他ではまずないことだと思います。質問や勉強の相談も、メールでも、直接お伺いしても、すごく親身に対応して下さいました。先生の言葉遣いからも、生徒一人ひとりに向き合ってくださっているのを感じていました。それから、受付には自習室の利用や教材の受け取りなどでお世話になりましたが、受付の方たちにもいつも本当に丁寧に対応していただきました。

### 後輩へのアドバイス

**岸**：これは半分冗談で半分本気ですが、一番前で授業を受けてください。僕はいつも先生のすぐ目の前で授業を受けていました。先生の熱量がものすごくいいので、その熱量が一番前で受けるのは、国語でも英語でも楽しかったです。

\*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



中学受験グノーブル卒生

いけうち ねね  
池内寧々さん

東京医科歯科大医・桜蔭

しぶた たいゆう  
渋田大湧さん

東大理II・海城

座談会出席者 五十音順・本文中敬称略

## グノーブルに通ってみて

**渋田**：毎回の授業で新しい発見があって、自分の英語力が上がっていくのを感じて楽しかったです。例えば、英語の授業では、単語だったら語源から、文法も成り立ちから解説していただいたので、無理に授業に向かおうとしなくても自然に集中できました。

**池内**：周りの友達はみんな塾の宿題に追われていました。グノでは、授業で扱った英文の読み込みと音読だけが宿題だったので、他の教科にだいぶ勉強時間を回せて、すごく助かりました。グノの先生は「英単語と日本語は対一対一に対応しているわけじゃない」とおっしゃっていて、英文を英語のまま読むことを教えてくださいました。

私は、先生に言われたとおりに音読や英文の読み込みを続けるうちに、英文を日本語に訳さずにそのままスラスラと読めるようになってきました。周りの友達が単語帳の暗記をしたり、分厚いテキストをやりこんでいるのを見て、初めは不安になったこともありますが、英文を読めるようになってすぐに不安は解消されました。

**渋田**：僕も、周りとの勉強法の違いに不安を持ったことがありました。でも、その日の授業の復習や音読で力がついていくのを実感できていたし、グノの先生がしてくださった英語の勉強方法の話に説得力があったので、グノを信じて頑張りました。

## グノーブルの話題

**渋田**：グノは英単語も英文法も、成り立ちから説明してくださるのが面白くて、どんどん知識が広がっていく感覚があって、すごくためになりました。科学的、社会学的、哲学的な話題も広く扱ってくれて、毎回の授業で英語以外のところでも学びがあるのが面白かったです。

**池内**：家族からは「英語の勉強をしているのを見たことがない」と言われました。それくらいグノは宿題が多くなく、効率的に英語の勉強ができていたのだと思います。普通の勉強では、通学途中に音読したり、英文の音声教材を聞いたりしていました。家では授業で扱った英文の読み込みをしていました。確かに、英語のために机に向かっている時間は圧倒的に短かったです。

## グノーブルの英語

**池内**：気づかないうちに英語力が伸びていました。直前期になって過去問を解き始めたら、初めて見る英文にも対応できるようになっていて、「こんなにできるようになっているんだ」と自分でもびっくりしました。単語を単語帳で暗記させるのではなく、授業中に語源などを教えてくださいるので、新しい単語を見た時も意味の推測がしやすくなりました。新しい単語を暗記していく時も、自分がすでに知っている単語に結びつけて暗記できます。だから、単語帳の暗記をしてきた友達に比べて、これからは英語の語彙を簡単に増やしていけるとしています。

あと、グノでは、英文を日本語に置き換えないでどんどん前から読む読み方も指導していただけます。格段に英文を読むスピードが上がりました。それから、先生は、英文の背景に及ぶ解説も詳しくしてくださいました。筆者が何を意識して文を書いたのか、英語圏ではどんなことが常識なのかなど、いつも興味が持てました。そのおかげで、初めて見る英文もどんどん読める土台が養われたのだと思います。医科歯科の過去問は

先生に添削をしていただきましたが、先生からは「正確に読み、的確にまとめる力が十分に備わっています。落ち着いて臨めば大丈夫」とコメントをいただき、それが自信になりました。入試本番の英文も臆さずに取り組みました。

**渋田**：グノでは受験科目としての英語の点の取り方ではなく、英語という言葉への取り組み方を指導してもらえました。

グノに通っているうちに、まず、「英語を読む脳」ができたのだと思います。英文を前から捉えていって、返り読みしないので、英語を読む上での下地ができました。大切だったのは、GSL\*で「耳」と「口」を鍛えて音読を習慣化したことです。リスニングも音読も絶対に前に戻れないので、英語を前からどんどん処理していく訓練になります。この訓練を習慣化することで英語を扱う脳が鍛えられたのだと思います。

**池内**：私も、隙間時間を見つけては音読していました。毎日音読をしていくにつれて、「英文を読むスピードが上がっているな」と感じられて、その気持ちももっと頑張るモチベーションにもなりました。

授業で最初に演習した時にはうまく読めなかった英文でも、英文の背景まで先生が解説してくださるので、かなりしっかり理解できます。それでも、音読してみると内容まではすぐに入ってきますが、繰り返しているときとだんだんと、書かれていることを意識しながら読めるようになります。それを続けていくうちに、初めて読む英文でも、前から順番に意味が自分の頭の中に入ってきて理解しやすくなりました。

**渋田**：グノの英語は授業自体が面白かったです。それはグノの先生が本質を大切にされているからだだと思います。特に、授業で扱う英文の内容が面白いのですが、というもグノ

の教材は過去問中心ではなくて、先生が僕たちに合わせて教材を用意してくださるからです。楽しめるものを準備してくださるから当然、どの教材にも興味が持てます。学校では習わない単語の語源を教えてください、文法を深く掘り下げてくれることなど、そのほうが効果が上がることばかりか、見えていなかった奥が見えてくることで思わず興味が引かれます。

**池内**：周りの友達は単語帳を使っていました。一見すると、単語帳で片っ端から覚えるのが手取り早いように思えます。でも、英単語の日本語訳を覚えるだけでは、英文を表面的にしか読めないのではないのでしょうか。グノの先生が授業中におっしゃるお話にはとても納得がいききましたし、そのとおりに、英文の読み込みなどを毎日少しずつ積み重ねることが、実は一番効率が良い勉強法だったと思います。

## グノーブルの数学

**渋田**：解法をただ教えるだけでなく、「どうしてその解法を選ぶのか？」まで説明してもらえたのが良かったです。頭の中ですでに入っていた知識が整理されて紐づけられたことで、得点力につながりました。

## グノーブルの先生

**池内**：どの先生も、担当して間もないうちに生徒全員の名前をすぐに覚えてくださいます。先生が生徒たちのことを覚えてくださると、教室の中にもものすごくアットホームな雰囲気生まれます。そうすると質問にいく時にためらいを感じることもありません。

先生方はいつも生徒一人ひとりを気にかけてくださっていると感じていました。それは、添削のコメントに

も感じられますが、先生が生徒全員に話している時にも感じられます。勉強するモチベーションには先生の存在が大きいと思います。私は、中学受験でも大学受験でも良い先生に恵まれたと思っています。

**渋田**：僕も先生の存在が大きいと思います。グノの先生方は、授業でも、質問や相談の時でもいつも丁寧で、それがとても印象に残っています。生徒のことをよく気にかけてくださって、個人の傾向などもちゃんと理解してアドバイスをしてくださいます。

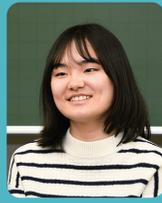
グノの授業は、ただ知識を教えて詰め込ませるのではなく、「どうしてそうなるのか？」とか「どういう経緯があるのか？」とか、僕たちの好奇心を刺激しながらどんどん深く掘り下げていきます。だから、1回の授業ですごく学びが多かったのが一番良いところでした。

## 後輩へのアドバイス

**渋田**：グノの授業は中身が濃くて効率が良いので、集中して授業の時間を活かしましょう。授業以外の時間をいかに使っていかのかも大切ですが、グノの先生に従っていれば、授業外でも効率的に復習ができると思います。グノで受講している科目については、安心してグノを信頼してほしいと思います。それ以外の時間は、うまく他の教科の勉強に充てていけると良いと思います。

**池内**：グノの先生と教材を信じて、教えていただいたとおりに復習を積み重ねることが、合格への近道です。とにかくグノを信じて頑張ってください。

\*Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

いとう ゆう き  
伊藤 優希さん  
東大理I・早稲田しのはら かつ き  
篠原 克希さん  
東大理I・海城しんどう はるか  
新堂 悠さん  
東大理II・桜蔭たか ふう み こ  
田坂 文彦さん  
東大理I・早稲田はやし りょうせい  
林 亮成さん  
東大理II・麻布やまだ ひろ き  
山田 大貴さん  
東大理I・早稲田

G 中学受験グノーブル卒生

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

## グノーブルに通ってみて

**伊藤：**グノの宿題は多くありません。解説では、「こう復習したら英語がうまくなるよ」という感じでコツを教えてください。塾の宿題だからとやらされている状態にならずに、主体的に取り組めたのが非常に良かったです。

**林：**グノだったら、部活に全部出ても、ちゃんと宿題を終えられるし、復習もできるペースでした。僕は高2まで部活をやっていましたが、部活と塾の両立はできていました。高3から受験勉強を本格的にやり始めた時も、自分の課題と向き合うという点でも負担の少ないグノで良かったです。

## グノーブルの英語

**林：**もともと読解は得意でしたが、文法の知識はほとんどありませんでした。高1、高2で文法の土台を築ける授業をグノで受けられて、それで英語を全体的に伸ばせました。先生たちは、授業中に「受験には直接関係ないよ」と言いながら、扱った英文の背景に関わることも面白く伝えてくれました。こういう教養の

部類に入る知識を多く知れるのは、とても楽しみでしたし、授業に積極的に参加するモチベーションにもなりました。

**伊藤：**高2の冬期講習からグノに入りましたが、その時から春期講習の前までに、自分でも信じられないぐらい英語がパーッと伸びました。英語への向き合い方、英文の読み方がそこで一気に身についたからだと思います。英語を読んだり解いたりする時の考え方を教わるだけでなく、復習で自分のものにするやり方も教えてもらえたので、必要な力がどんどん自分のものになっていくのを感じました。グノで学んだ英語は大学でも役立つと思います。

**新堂：**入塾するまで英文要約をやったことがありませんでした。でも、グノでポイントやコツを教えてください。「こういう感じなんだ」と思ったのが高2の時です。単語や文法は頭に入っていたので、文章を読むだけならもともとできていました。でも、英文が読めることと、内容が理解できていることとは違いました。読めても理解できていないと要約はできません。

高3では、文章の構成などを考えて読まないといけなことが分かって

きました。それまでは、英文のパラグラフがどんなものなのかも分かっていませんでした。段々筆者が主張しているところと、それを補足している部分がくっきり区別できるようになりました。

**田坂：**僕はグノには高2の夏休みにEGGS<sup>\*1</sup>から入りました。グノに入って一番良かったことは、英語に嫌悪感がなくなったことです。勉強に向かう気持ちが芽生えたことがすぐに伸びた要因だと思います。塾に行って演習して、そのあとにすぐに解説を聞いて「こういうことか」とすっきりすると、「やっていることに意味がある」と思えます。グノでしっかり内容を教えてもらえて、「英語はそんなに悪いものじゃないな」と自分の中で印象が変わりました。

**山田：**グノは、高校1年の時に文法をちゃんとやってくれて、僕はそれをこなしていくうちに、文法分野がすごく得意になりました。高3になるとグノの英語の授業は、読む題材を直近に決めてくれるので、今の世界情勢や時事問題を英文で読めます。触れる英文の量が格段に増えましたが、興味を持って読める英文をいつも準備してもらえたので、むしろ喜びでした。

## グノーブルの英語の特徴

**山田：**一方的な講義形式の授業ではなく、先生が質問して生徒が答えたり、生徒がその場で解いた問題を先生が添削してくれる点と、英語の語順で読めるように、音読の仕方など具体的なやり方をしっかり指導してくださる点です。グノのやり方で音読を繰り返していくうちに、頭の中で日本語を出さずに英語を読めるようになって、読むスピードや問題を解くスピードが確実に上がりました。しかも、正確に読めるようになって、良いこと尽くめでした。

**田坂：**授業の中で先生が「パラグラフごとに話は整理されている」と何度もおっしゃっていました。毎回の授業の最初に要約の添削があったおかげで、流れをつかむ技術が確実に上がりました。

**新堂：**演習して、その場ですぐに解説という授業なので、集中力が途切れなかったのが良かったです。授業中に演習したほうが集中できるし、緊張感もありました。高3では毎日音読をやっていました。最初はお手本になるGSL<sup>\*2</sup>のスピードが速くて、口が全然回らなかったのですが、頑張っていたらちゃんと回るようになりました。英文が面白くて、音読が他の教科の息抜きになったのも良かったです。

**篠原：**英語の授業で良かったのは、英文の内容を解釈していくことが中心になっていたことです。設問に答えることができて、内容を理解しているかは別です。日本語に訳すことができて解釈が伴っていないことがあります。先生はよく「読むことは筆者と対話することだ」とおっしゃっていて、読むことイコール対話だという姿勢がグノの授業で身につきました。英単語の学習も、英文の内容を理解していくことと切り離しては考えら

れません。単語の意味は文脈の中で決まっていますから、読んでいる英文で単語を身につけられて本当に良かったです。グノでは、単語の語源から説明してもらえるので、その面からも理解が深まりました。音読は高3で本格的にやるようになって、最後の3か月ぐらいは特に重点的に取り組みました。読むスピードが格段に上がったし、リスニングもかなり点数が伸びました。1個1個の単語が全部つながっているようにしか聞こえなかったのが、音読していくと自分も発音するので、あやふやなところがだいたいはっきり聞こえるようになりました。

**新堂：**サミングアップ<sup>\*3</sup>を毎回やっていたので、要約に対して抵抗感がなくなりました。読解は本当にグノのほうが難しく、東大のほうが簡単でした。

**山田：**グノのサミングアップでは話題が抽象的なことも多く、難度は高かったと思います。それを毎週やっているの、東大の本番の要約では、1回読めば「どこを書けばいいのか？」が分かるようになります。グノのサミングアップは本当にためになりました。

## グノーブルの数学

**林：**「テーマタグ」という考え方を教わりました。具体的には、「何をテーマにした問題なのか？」を理解してタグ付けしていくことで、解き方が思いつきやすくなるという考え方で、自分にはぴったりでした。これをやるためには、「自分がどういう問題を解いているのか？」を客観視する必要があって、その練習を授業の演習でできて、実際の入試でも役立ちました。セルフチェックシート<sup>\*4</sup>も有効でした。宿題を解いて、自分がその宿題に対してどう思ったか、どういう感触だったかなどを書

き残していきます。宿題の解説が終わったあと、それをもう1回見ると感覚のずれに気がつくこともあって、考え方の軌道修正ができました。「自分はこういうミスをして『合っている』と思い込んでいる」ということが何度かありました。

**篠原：**関連した問題を一緒に出してくれるのが一番良かった点です。それを解くことで、それまではその1問で完結していた問題が他とつながっていきます。

だから、問題数が少なくてもどんどん理解が深まりました。発展問題についても、「あれと同じような形だから、これもこうすればいい」という感じで、今ある知識を利用できる形で学べました。セルフチェックシートには、自分が問題を解いた時に意識していたことや、その時に意識すべきだったことなどを書いていました。時間がたってからもう1回解き直した時も同じようなところで間違えるので、注意すべきところや問題へのアプローチの仕方などをセルフチェックシートでさっと振り返ることができます。先生がアドバイスを書いてくださるのも、ものすごく役に立ちました。

## 後輩へのアドバイス

**新堂：**早寝早起きはちゃんとやったほうが良いです。体調の管理も受験には大切です。

**山田：**グノの英語と東大の英語はしっかりと対応しています。グノの英語を間違いなくやっておけば、ちゃんと受かるので安心してください。

**篠原：**グノの指導は、本当に生徒の実力を上げるように考え抜かれていると思います。グノを信じて頑張ってください。

\*1 English Grammar Green Session for newcomers : 季節講習 (中3冬期~新高3冬期) で行われる、基礎力を固めたい方を対象にした、独自のメソッドによる英文法基礎講座。

\*2 Noble Sound Laboratory : 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。(p.12→)

\*3 SUMMING-UP LABORATORY : 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

\*4 セルフチェックシート : 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。

## 18期生合格者インタビュー

# Part 6



こうだ だいき  
國府田 大喜さん  
東大理1・駒場東邦



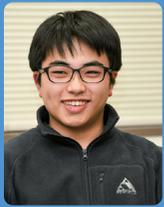
とちぎ はやと  
都知木 勇人さん  
京大工・駒場東邦



まさひろ ゆうき  
正廣 祐貴さん  
慶應大法・世田谷学園



もりはた まり  
森畑 真理さん  
学習院大法・品川翔英



ゆきた じゅんいちろう  
行田 潤一郎さん  
一橋大商・海城

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

### グノーブル入塾のきっかけ

**正廣:** グノの英語と私大国語に通っていましたが、英語は中学3年の冬期講習から、EGGS\*1という、基礎的な文法から学ぶコースに入りました。「単語帳を使わない」というフレーズにすごく魅力を感じたのがきっかけです。

### グノーブルの英語

**行田:** もともと英語はかなりできたほうだと思います。幼い頃ニューヨークに住んでいたからです。グノに通ったことで、難度の高い語彙もどんどん取り込めるようになったし、細かなニュアンスや深い意味が見えるようになって、英文を読む精度が高まりました。文法力もグノで身につけました。

**國府田:** 僕も英語は最初から得意でした。父親の海外赴任で小さい頃によく海外に行っていたので、英検などを早い段階でコツコツ取得していました。そのアドバンテージが生きて、入塾の時まではリードを保っていました。それまでは、単語や文法を丸暗記した表面的な理解だったのが、グノで、表面的な知識にとどま

らない、深度の深い授業を受けたことで英語の仕組みの深いところまで理解を掘り下げることができました。先生が、英単語の語源を、ギリシャ語やラテン語から説明してくださったり、フランス語との関連を話してくださるので、それが自分の中では興味深くて、グノの授業を受けているうちに自然に英語の力が伸びた実感があります。受験にとどまらない知識を教えていただいて、それは大学に通じるものだと思います。

**都知木:** 僕は英語がすごく苦手でした。高2の秋に部活を引退して時間ができて、そこから音読や復習をちゃんとやり始めました。グノで学んだ英語は、京都大学の入試でもすごく役立ちましたし、これから大学で論文などを読む時にもすごく重宝すると思います。

**正廣:** 僕も中1で初めて英語に触れて、アルファベットからやりました。中3の冬にグノに入った時には、長文はまるで読めない状態でした。でも、合格者の声に「とにかく音読をしろ」「グノの先生を信じろ」と書いてあったので、それを信じて勉強しました。EGGSからのスタートでしたが、高3の最初にαに上がることができました。

### グノーブルの音読

**正廣:** グノの教材と音読で鍛えられたので、生きた英語を楽しめるようになりました。言語は耳から入れると上達が早いと思います。言葉はフレーズをつなぎ合わせたり組み替えたりするものなので、音読のおかげでそれがスムーズにできるようになっていきます。

**森畑:** 毎日30～40分は音読していました。音を聞きながら目で追い、すべての感覚を使って英語に触れるのが、音読の一番のメリットだと思っています。

**行田:** 僕は、英語だけでなく他の科目も、ブツブツ独り言のように言いながらやっていると、気づいたら定着している感じを実感していました。やはり口に出すことは大事だと思います。

### グノーブルの英語の勉強法

**森畑:** 英文の隅々に目を凝らして、筆者の主張と、それを説明している部分を見分けていく訓練がサミングアップ\*2でできたと思います。サミングアップ以外の長文を読む時にも、要約で培ったまとめる力と隅々

まで読む力が合わさって的確に読めるようになりました。

**國府田:** グノの単語の語源的理解のおかげで、すでに覚えている単語についても、その英語らしいイメージをつかんで記憶を定着させることができました。初見の単語に対して類推する能力も養われるので、長文を読むにあたって、単語で詰まることが非常に減りました。

**正廣:** 英文教材の知的レベルが高くて、そこが気に入っていました。海外の新聞や学術論文からの引用があったり、オックスフォード大学の教養学部の教科書が教材になっていたこともあり。そういう教材を解説して下さる先生の話も素晴らしいので、英文の内容にも引き込まれましたし、もちろん英語の本質的な理解にもつながりました。

### グノーブルの数学

**國府田:** グノの数学のおかげで、分野別にテーマに関連づけて解法を選べるようになりました。テーマごとにタグ付けをしていくので授業では「テーマタグ」と先生が名付けていましたが、「テーマタグ」が知識を体系的に整理するのに役立ちました。方針を選択できるので完答率も上がり、完答できるかどうかは計算技術がまた要りますが、出発点となる方針を大きく間違えなくなります。

セルフチェックシート\*3には、僕は主に解答のアウトラインを書いていきました。テーマタグについて意識して「自分の方針をどうやって立てているのか？」などを書き、シートを見直す時には、「方針を立てる段階でどんなミスをしたのか?」、合っていた問題について「どうしてこの解法を選択できたのか?」を思い返していました。

### グノーブルの国語

**正廣:** 難関大学だと文章が抽象的で、解いている時に全部把握し切れないことがあります。抽象度の高い文章でも、グノの解説では、雑談のような、本当におしゃべりのような感覚で解説されていきました。

**森畑:** 古文でも、苦手意識をなくさせる授業の工夫がされていました。「紫式部はこういう人」とリアルに生きていた人だと感じられる解説だったので、古文を身近に感じられるようになりました。

**行田:** グノの古文で本当の基礎の基礎から始められて、学年が終わる頃には、ある程度の古文であれば大体理解できるところまで成長できました。高3の小論文では、先生の添削がすごく丁寧で、小論文の隅々まで見てもらえました。

### グノーブルの物理

**都知木:** グノの物理は「偉人がどうやって考え出したか?」を解説しながら授業が進んでいくので、いつも興味深く話が聞けましたし、本当に根本から理解できたと思います。物理の授業ではかつての科学者の思考過程にまで及んでいましたが、無駄なことはありませんでした。もともと進みたかった学部も物理系だったので、グノの授業でさらにその志向が強化されました。英語と同じく数学も物理も、グノでちゃんと本質から理解していたので、応用力のある入試問題にも対処ができたと思います。

### グノーブルの先生

**正廣:** グノの先生はすごく親しみやすかったです。授業の内容や学習方法などを繰り返し何度も相談させていただきましたが、いつでも、僕が

納得するまで相談に応じてくださいました。僕は慶應大学に進学しますが、そこも実はグノの先生にご相談した結果です。もともと別の大学を第1志望にしていたのですが、国語の先生にご相談したところ、「あなたには慶應のほうが良いのでは」と強く勧められました。自分でも足を運んでみた結果、慶應を選びました。**都知木:** グノの先生は、本当に一人ひとりの成長を応援してくださいます。直前期には校舎に何度も過去問の添削依頼に行きました。かなり量が多いものでもいつも快く対応してくださいました。

**國府田:** 先生方がその科目に対して非常に造詣が深いのが見て取れました。専門性の高さや教養の深さが見えて、知的好奇心をそそられる授業をしていただきました。その科目が受験科目として得意になるだけでなく、好きになりました。自ら意欲を持って学習するという面でも非常に助けになりました。

### 後輩へのアドバイス

**國府田:** 自分は5月末ぐらいに英語のクラスが落ちたことがあり、クラスが変わる直前の授業で扱われた英文のテーマが「レジリエンス」でした。「レジリエンス」は「へこたれなさ」という意味で、まさに受験勉強で問われるものだと思います。それは、クラスが変わってしまう生徒たちへの先生からのメッセージでした。「1回の模試の結果で一喜一憂せず、受験まで諦めないで走り続けよう」と思えたことが印象的で、心に残っています。

**正廣:** グノーブルでは、大学受験だけでなく、その先も見据えたご指導をしていただけました。本当の英語力や本当の教養を教えていただけたとても良い塾でした。

\*1 English Grammar Green Session for newcomers : 季節講習 (中3冬期～新高3冬期) で行われる、基礎力を固めたい方を対象にした、独自のメソッドによる英文法基礎講座。

\*2 SUMMING-UP LABORATORY : 高3の英語 (読解) で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

\*3 セルフチェックシート : 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



あんどう ゆうき  
安藤 祐輝さん  
筑波大 医・武蔵



すずき せいた  
鈴木 惺太さん  
順天堂大 医・海城

座談会出席者 五十音順、本文中敬称略

### 医学部志望の動機

**安藤**：僕が医学部を目指した理由は、生まれた時に遡ります。僕は早産で、重度のアレルギーを持っていたため、生まれた瞬間からずっと「お医者様に救われたよ」と親に言われ続けてきました。

そんな中で進路を決める際、人の命を救うこと、僕にとっては「みんなをどれだけ健康に、そして、幸せにできるか？」ということだけに専念して勉強ができる医学が、他の学問よりも輝いて見えました。一人ひとりを治す臨床は尊い仕事だと思いますし、興味もあります。研究寄りになります。医学を使ってもっと生活を豊かにしたり、根源から変えたりする方面に携われたらいいと思います。一般的な臨床とは違った角度から医学を捉えてみたいです。

**鈴木**：僕も早い段階から医学に興味がありました。というのも、父親が整形外科医で、母親もともと看護師だったので、医療が身近に存在する環境で育って、自然と医療に興味湧いたからです。医者になったあとも、自分に対する誇りを持てる、やりがいのある職業だと思ったので、医学部を志望することになりました。

た。小さい頃から、整形外科医の父親に直接治療してもらって経験が多くて、父親の姿に「カッコいい」と憧れていました。だから、スポーツ医学を志したいと思います。

### グノーブルの英語

**安藤**：中学の頃、僕はうまい感じに英語のスタートを切れていました。高1から高2にかけても成績が伸びていたこともあって、もともと英語は得意だということ意識がありました。グノでは土台になる文法をしっかり整え直すことができました。さらに、読解の授業で扱われる英文が、ありきたりな大学受験の過去問とは異なったことも大きかったです。中には、人生を考えさせてくれる哲学的なものまでありました。

先生の解説も、英文を解釈するための背景にまで及んでいたのが理解が深まりました。そのことが人として僕を豊かにしてくれたと思います。もうひとつ、グノで学べた大切なことがあります。僕たちは日本語話者なので、物事を考える時に日本語的な論理構造で考えています。英文を読む時には頭の中のスイッチを英語モードに変えなくては、本当の意味

で英文を解釈することはできません。グノでは、英文を英語で考える訓練ができました。英語話者的な考え方に切り替えられるスイッチが僕の中に備わったと思います。

**鈴木**：僕も中学1年生の頃から、新しい言語を学ぶのは、自分の世界が広がっていく感じがして最初から好きでした。英語の勉強は中1から中3まで学校が中心でした。海外のコンテンツもよく見ていて、分からない単語を自分で調べるなど、主体的にやっていました。英語が好きで得意でしたが、その時はまだグノで学んでいないので、英語をわざわざ日本語に変換して理解していました。英語を日本語に変換する作業をしていると、直接的なニュアンスなどは伝わってきません。

グノに通うようになってから、理解した文章を音読したり、GSL\*などのリスニング教材を耳で聞いてシャドーイングしたりして、英語を英語のまま理解できる英語脳が身につきました。これが、グノで英語を学んだことの大きなメリットのひとつでした。グノでは先生の説明は、語彙や文法的なことにとどまりません。英文の背景や筆者の感じ方まで、先生が楽しそうに生き生きと解説して

くださいます。先生はよく、「筆者の頭の中に入ってみると」とおっしゃって、僕たちが気づきにくい指摘もしてくれました。

音読は、解説で内容をよく理解した文章が素材です。英語のまま誰かに内容を伝えるつもりで口に出すというアウトプットを繰り返します。英語を英語のまま内容理解ができる力が自然とつき、それが初見の文章にも応用できるようになっていきました。気づいたら「あれ？日本語に変換しなくても読み進められている」となっていました。

グノの勉強法では、語源から英単語を学ぶところも画期的だと思います。語源から学ぶことによって、初見の単語でも、綺麗な訳は出せなくても、「大体こういうイメージの単語だな」とパッと思いつくようになります。僕は海外留学を視野に入れています。例えば、アメリカは医療技術が一番進んでいる国ですが、制度的には、日本にある国民皆保険制度がありません。国ごとの医療の違いを自分の目で学んでいくことは、今後医師としてのキャリアを積んでいく上でも重要な経験になると思います。そういう視野を広げるためにも、グノで学ばせてもらった経験が間違いなく活かせるはずですよ。

**安藤**：グノの先生は、語源からの捉え方、単語の概念の幅、他の単語とのつながり、筆者がある文脈の中でその単語を選んでいる感覚などを教えてくださいました。先生はよく「アルファベットの羅列ではなくて、単語にはそれぞれの顔つきがあるからそれを見てね」とおっしゃっていました。英語を英語のまま捉える感覚を教えてくださいました。先生はよく「タイトな時間設定もあります。授業内演習で時間内に速く読むには、和訳しながら読んでいるのでは限界があります。授業の環境すべてが、僕たちの英語に対するアプローチを変え

てくれました。改めて考えてみると、「グノはすごかったな」と思います。**鈴木**：グノでは毎週、「この時間でちゃんと集中して読んで考える」という意識を持って演習する機会がありました。集中して解く習慣づくりを高1から3年間できたのは、当たり前のようで当たり前ではなかったのかもしれない。

**安藤**：グノの良さは、その場で演習して、すぐに添削されて、解説も直後です。リアルタイムでフィードバックされることで、自分の思考プロセスと先生の教えを照らし合わせながら授業を受けられました。一番力がつくやり方だと思っています。こうした授業がずっと成立している根底には、先生方の熱意があるのだと思います。

### グノーブルの英語の特徴

**安藤**：グノは、「生徒たちの英語の力を伸ばすにはどうすれば良いのか？」を軸にして教えてくださいました。先生が長期的な視点に立って教材を準備されていることにも気づきました。例えば、英語長文の授業でやったことが、次の週の英文法の問題のフレーズに入っているなど、様々なところに大切なことが交互に出てきます。僕は「どれだけ教材がつくり込まれているんだろう」と思って、感動していました。

### グノーブルの物理

**鈴木**：物理工学科に通っている兄がよく、「物理に対する考え方やアプローチの仕方が、グノの授業を受けてから変わった」と話していました。僕も、公式にあてはめるだけの勉強から脱却したかったので、グノの物理に、高2の春から通い始めました。「そもそも公式がどういう意味を持つのか？」「そもそもこの物理現象

は何で起きるのか？」から考える習慣を2年かけてつけてくださったグノの先生に感謝するばかりです。

### グノーブルの数学

**鈴木**：秋以降、医学部の志望校別の講座が開かれていましたが講習では、「この大学にはこの10題をやりなさい」という問題冊子が配られました。志望校に合わせた傾向や対策を踏まえて、「どの分野をやるべきなのか？」などがちゃんとまとまっている冊子でした。

### グノーブルの先生

**安藤**：グノの先生方には、一度で名前を覚えてくださるすごさがあります。授業の迫力や「生徒の力を伸ばしたい」という熱意もいつも伝わってきました。先生が魅力にあふれているところが、僕が「グノーブルで良かった」と思う理由のひとつです。

**鈴木**：生徒一人ひとりを見て、楽しそうに授業をしていらっしゃるの印象的でした。授業の準備をしている姿にもパッションを感じたくらいです。

### 後輩へのアドバイス

**鈴木**：分からないことを後回しにしないで、先生方に直接聞いたり、アドバイスを求めたりすることがとても大事です。聞きやすい環境が整っているのがまさにグノなので、後輩の皆さんにもぜひ活用してもらいたいです。

\*Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。



# Gnoble

## GROUP

## 知の力を活かせる人に

私たちは、生徒の皆さん一人ひとりと誠実に向き合います。

皆さんが、将来にわたって活躍できる土台となる、

有機的知識・思考力・判断力・コミュニケーション能力・心の強さを

身につけていくことを常に念頭に置いた指導をお約束します。

何より、皆さんの意欲や好奇心といった心の中の火を

無味乾燥な受験勉強で消してしまわない

活き活きとした環境を提供していきます。

大学受験



**Gnoble**

大学受験 **グループ**

難関大学・医学部を目指す中1生～大学受験生

本物の知的体力がますます求められています。その知の力を伸ばすのに最も大切な要件は、前向きになれる、知的刺激にあふれた環境で学ぶことです。授業形式、教材、そして、教職員の接し方に至るまで、皆さんが意欲的になれる環境を整備し、難関大学・学部を目指す皆さんをしっかりとサポートしていきます。

中学受験



**グループ**

中学受験 **Gnoble**

難関中学を目指す小学生

最新の入試傾向に対応したカリキュラム、精選されたオリジナルテキストを基に、経験豊かな講師陣が一人ひとりに向き合った双方向の授業を展開し、難関中を目指す子どもたちを導いていきます。学習したい教科や志望校別のクラスが選択できるなど、中学受験に関するさまざまなご要望にお応えしていきます。

個別指導



**グノリンク**

個別指導 **GnoLink**

難関校を目指す小学生～大学受験生

生徒一人ひとりに心を配り、その子の持つ可能性を追求します。学習状況に合わせて、講師1名に生徒2名、あるいは生徒1名の完全個人指導体制を提供します。中学受験・大学受験グループと並行して通うことも可能です。グループオリジナルテキスト等も併用しながら、個別に対応します。

子ども英会話



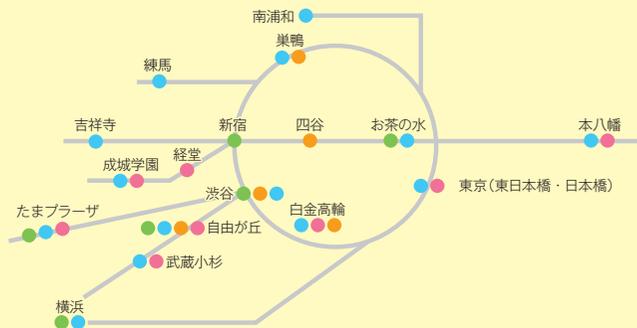
**GnoKids**

子ども英会話 **グノキッズ**

0歳児～小学生

さまざまな楽しい英語体験を通して、聞く、話す、読む、書くの4つの力を伸ばします。先生2名に生徒は8名程のクラスで、ネイティブの英語に触れ、親しむことができます。ご家庭での学習も配慮した教材で、継続的な学習を無理なく行うことができます。

### Gnoble グループ 各校舎所在地



**Gnoble**

GROUP

大学受験 **グループ**  
個別指導 **グノリンク**

中学受験 **グループ**  
子ども英会話 **グノキッズ**

グループ総合案内

[www.gnoble.com](http://www.gnoble.com)